



# 長門の話題

## Topics

### 「恩湯・恩湯食」竣工式、長門湯本温泉観光まちづくり完成プレス発表会など

長門湯本温泉観光まちづくり計画に基づき、温泉街のリニューアルに取り組んでいる長門湯本温泉では、3月末で大きなハード整備が終了し、竣工式やプレス発表会などが開催されました。

3月10日(火)、外湯「恩湯」および飲食施設「恩湯食」の竣工式および内覧会が開か



▲「界 長門」で開かれたプレス発表会で話す星野代表



▲「恩湯・恩湯食」竣工を祝うテープカット

れ、関係者ら約40人が出席しました。長門湯守株式会社共同代表の大谷和弘さんが「恩湯は源泉のある岩盤から自然の力で湧き出ている珍しい温泉。昔の恩湯と同様に、新たな恩湯も地域の皆さんに愛される温泉になるようにしていきたい」と抱負を述べました。

3月11日(水)、星野リゾート

界 長門で「長門湯本温泉観光まちづくり計画」および「星野リゾート界 長門」開業プレス発表会が開催され、県内外から50人を超える報道陣が取材に訪れました。

会見に臨んだ星野佳路代表は「日本の観光が大変な時期だが、開業できたことを嬉しく思う。市や地域、温泉旅館



▲温泉が岩盤から湧き出る様子を見ながら入浴できる浴槽

の経営者、外部専門家のみなさんが強い思いで長門湯本温泉街の再生に取り組んでいますが、これからは「界 長門」という温泉旅館のサービスを通じて、メンバーの一員として温泉街の再生に貢献したい」と述べました。

また、竹林の階段や雁木広場、夜間照明なども供用開始され、「そぞろ歩きが楽しめる温泉街」をテーマに温泉地ランキングトップ10入りを目指した観光まちづくりが本格的にスタートします。



▲竹林の階段や雁木広場、飛び石などハード面の工事も完了

# 長門のPeople

## 長門の美味しいを多くの人へ

川田 りえ さん

(恩湯食 料理 / 深川湯本在住)



国の地方創生交付金制度による長門市移住支援金を受けた第1号として、東京都から長門市にUターンした川田さん。もともと料理が大好きで、東京の飲食店で料理長を勤めていたところ、長門湯本温泉でのお店と一緒にやらないかとの誘いを受け、長門市に戻ることを決心しました。

3月18日(水)に長門湯本温泉に開店した「恩湯食」の料理を勤めるのと同時に、地元農家を訪れ食材の特徴を聞くなど、地元

食材を中心とした料理の研究に励んでいます。「恩湯食では、長州どりや豆腐など地元食材を使い、温泉から上がって召し上がったいただけのようなヘルシーな料理を提供したい」と語ります。

「若い人たちがここで暮らし続けたいと思うまじにするために、恩湯食として少しでも盛り上げられれば。地元の魅力を豊かな食を通じて、多くの皆さんに伝えていきたい」と語ってくれました。



▲スタッフとともに。地元食材を使ったメニューを提供

## 旬な人

### 6年生から下級生へ、伝統と意思を引き継ぐ 通小学校で通鯨唄引継式

2月28日(金)、通地区で唄い継がれる長門市無形民俗文化財「通鯨唄」の引継式が、通小学校で行われ、全校児童、通鯨唄保存会、地区住民、教職員が参加しました。

引継式では、はじめに全校生徒20人が通鯨唄「祝い目出度」を披露。児童らは、鯨への哀悼と感謝の気持ちを表す



▲6年生から下級生に法被と太鼓のばちが託される



▲残った1年生から5年生だけで通鯨唄を披露

伝統の採み手を行いながら、張りのある歌声で歌い上げました。

その後、卒業する6年生から下級生に法被と太鼓のばちが託されると、6年生が見守る中、1年生から5年生だけで「祝い目出度」を披露し、長年続く通地区の伝統を引き継ぎました。